

小学部2年生 生活科 校外学習～パーマスイオンでお買い物～

■日 時 2018年3月1日(木)

■場 所 パーマスイオン

■参加者 小学部2年生 9名

■様 子



今年度最後のジョホール探検は、パーマスイオンでした。ここは、日系企業のスーパーマーケットです。

今回の目的は、日系のスーパーマーケットのお店のよいところを探すこと。また、お家の方に頼まれたお買いものをすることです。

まずは、パーマスイオン内のパン屋さんでパン作りをしました。衛生面での管理が重要なので、児童もヘアキャップとマスクをしての実習でした。パン屋さんの従業員にインタビューをしてパン作りの魅力や苦労話が聞けました。

その後、班に分かれて店内でお買いものをしました。持参した金額内での買い物だったので、自分の懐と相談しながら、買い物をしました。

イオン職員、総務部の方へのインタビューでは、日系企業ならではの日本製品についての質問が多かったです。

最後の昼食タイムでは、スーパーで購入した寿司を食べる児童もいました。子どもたちは、たくさんの発見をして充実した校外学習になりました。

中2技術科校外学習(グリーンヒル農園)

- 日 時 2018年3月5日(月)
- 場 所 グリーンヒル農園
- 参加者 中学部2年生 8名
- 様 子

中学部2年生は、単元名「生物育成に関する技術」で農業実習を日本人の宇佐美篤さんが経営するグリーンヒル農園で行いました。生徒8人が参加しました。その内4人は小学校3年次に、場所は異なりますが行っています。現在の農園は、宇佐美さんが農園をはじめて4ヶ所目ということです。無農薬野菜を消費者に供給することをコンセプトに取り組んでいます。

生徒は、野菜の植え付けから収穫等について教科書で学びました。今回の実習では、ナスの定植、トウモロコシの種の植え付け、オクラの収穫、おくら・ちんげんさいの袋詰を体験しました。宇佐美さんの野菜作りについていろいろと説明がありました。農園の土壌については、鶏糞を土に混ぜて野菜が育つ環境を整えること、乾季の水の確保については、散水用のスプリンクラーを使用し農園の近くある池の水から、また池の周辺の地下水を使用していること、この農園では、葉物・路地物・棚物の15種類の野菜が栽培されていることなどです。消費者に定期的に供給できるように、種の植え付け時期をずらす工夫もしているそうです。

宇佐美さんの農園に対しての様々な工夫と手間をかけて野菜を栽培されている取り組みを、生徒は実際に体験をとおしてわかりました。農業は、丁寧に土や野菜を取り扱うことに留意して、消費者のことを思いながらする、ということもおっしゃっていました。



第21回卒業証書授与式

- 日 時 2018年3月10日(土)
- 場 所 ジョホール日本人学校体育館
- 参加者 全校児童生徒
- 様 子

今年度の卒業生は、小学部6年5名、中学部3年8名でした。

卒業生の大きな返事、堂々とした立ち振る舞いは、在校生には目指すべき目標、あこがれの姿として映ったことと思います。送辞では、在校生小学部代表と中学部代表の2名が、卒業生との思い出や感謝の言葉を述べた後、在校生全員で「旅立ちの日に」を合唱しました。答辞では、卒業生全員が、学校生活での思い出、後輩への激励の言葉、お世話になった方々への感謝の言葉などを述べ、最後に「遙か」を合唱しました。

卒業生と在校生の心が通じ合う、とても温かで感動的なすばらしい卒業式になりました。

